

### ～子どもに発し、子どもに還る 学校づくり・授業づくり～

## もくじ

- ・来年度への展望について…1・2  
総合的な学習の時間  
小学校外国語教育  
特別の教科 道徳
- ・学力向上フォーラムのお知らせ…3
- ・キラッと輝く子どもの先生の笑顔 …3
- ・外国籍等児童生徒指導者研修…4
- ・第3回授業改善研修 …4
- ・共育フォーラム …5

## 季節の花だより



「シクラメン」  
花言葉 “絆（きずな）”  
2017/12

## さあ来年度の研究へ！…と、その時に

10月の教育課程研究協議会では、各会場校の児童生徒のみなさんをはじめ、多くの先生方、地域の皆様に大変お世話になりました。北信管内では80校の貴重な実践をもとに、子どもの具体的な姿から学び合うことができました。皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、会場校や参加した先生方からいただいた感想、また日頃の学校訪問の中でいただく声の中に、次のようなものがあります。

新学習指導要領への伝達事項が盛りだくさんだった…



「探究的な学び」って、どういうこと？

道徳の教科化において資料がほしい。

小学校外国語教育の時間増への情報がほしい。

来年度に向け、「探究的な学び」「特別の教科 道徳」「小学校外国語教育」について、目のつけどころや情報をお知らせします。

今年度教育課程研究協議会フレゼン資料は  
[長野県総合教育センターホームページ](#)へ  
→ 教育情報 → 教科教育 → 教育課程資料  
(～12月31日・期間限定)

教学指導課から各市町村教委経由で、各校へ詳細やパスワードが通知されています。



## 「探究的」ってどういうこと？

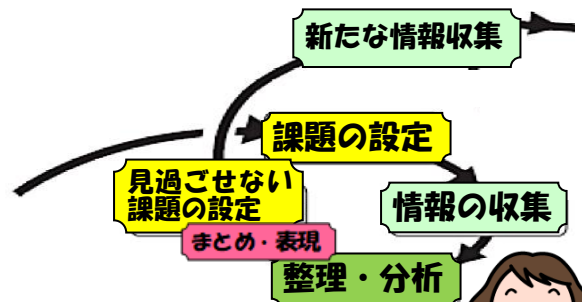
### ～総合的な学習の時間の充実に向けて～

「探究の過程」があることを意識して活動や授業展開を構想していますか？



その上で

活動はやっているのだけど、探究的な活動って、難しいな…とお悩みの先生へ！



「探究の過程」を順番通り行っていくことが重要なではありません。

子どもたちが物事を自分に引き寄せて学んでいるときには、多様な角度から対象を分かりながら新たな課題を見出して本気になっていきます。整理分析とまとめ・表現が同時進行すること等もあります。教師は、「今日は情報を収集したから次回は整理分析だ」と機械的に考えるのではなく、子どもの姿を「今はどの過程にあるのか」という目でとらえ、活動や授業展開を構想しましょう。



平成 29 年度重点目標・キーワード  
生涯学習課  
“学びをつなげて 人づくり 地域づくり”  
学校教育課  
“語り つなぐ”

2学期も終わります。4月からの子どもたちの成長を広い視野で見ながら、ともに語らいましょう。事務所だよりについても、ご意見・ご感想・ご希望の記事等をお寄せください。(メール [hokushin-s@pref.nagano.lg.jp](mailto:hokushin-s@pref.nagano.lg.jp) まで)

# 外国語教育の情報はたくさん公開されています



移行期間が始まるので、準備に役立つ情報が知りたいなあ…



役立つ情報が文部科学省から示されています。

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN

会見・報道・お知らせ 政策・審議会 白書・統計・出版物 申請・手続き 文部科学省の

トップ > 教育 > 小学校、中学校、高等学校 > 外国語教育

● 外国語教育

小学校外国語活動

- [小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック](#)
- [小学校外国語活動](#)
- [“Hi, friends!” 関連資料](#)
- [小学校の新たな外国語教育における補助教材\(Hi, friends! Plus\)の作成について\(第5・6学年用\)](#)
- [小学校の新たな外国語教育における補助教材\(Hi, friends! Story Books\)の作成について\(第3・4学年用\)](#)

新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料

- [新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料](#)

たとえば、「研修ガイドブック」には、5・6年生で2時間に1回程度行う「Small Talk」の例や授業時のやりとりなどに使える「Classroom English」の英文例などさまざまなものが掲載されています。

12月5日付 教学指導課からの外国語活動についての通知もご覧ください



## 道徳の教科化 次の一手は

### H30 実施に向けて 本年度の各小学校の実践（例）

- 採択教科書をもとに、年間指導計画を立案
- 見取りの実践：
  - 多面的・多角的な見方へと発展したり、道徳的価値の理解を、自分との関わりでとらえ、深めたりしている児童の姿について1時間の学習状況を把握
- 見取りの蓄積：
  - 学習カードのファイリング、子どもの発言や名前のある板書の記録、座席表への記録等、要録への評価記載の際の根拠

### H31 実施に向けて 本年度の各中学校の実践（例）

- 量的確保：
  - 35時間の確実な実施
- 全体計画への重点内容項目の位置づけ
- 話し合いの充実：
  - ペアやグループ、自由に移動する等、多様な考えに触れられる価値観の交流
  - 弱さへの共感
    - 教師も子どもと共に考え、悩み、感動を共有する姿勢を意識
- 学年道徳や交換授業の実施：
  - 複数の教師の目で学習状況の見取りへ

質的転換



### 「道徳教育アーカイブ」（文部科学省）参照

「道徳科における質の高い多様な指導方法について（イメージ）」をもとに、「質的転換」を意識した授業実践の様子を動画で視聴することができるようになりました。学習指導案も紹介されています。詳しくは、こちら→

[道徳教育アーカイブ](#)

[検索](#)

# 平成29年度 学力向上フォーラムながののご案内

平成29年度「学力向上フォーラムながの」  
「求められる資質・能力」から学力向上を考える

1/22(月)  
11:00~16:10  
キッセイ文化ホール  
(松本市)

平成29年度「学力向上フォーラムながの」を下記のよう  
に開催します。ご多用中のことは存じますが、多数の御参加を賜りたく御案内申し上げます。

日時 平成30年1月22日(月) 11:00~16:10 (開場10:45)  
会場 キッセイ文化ホール  
〒390-0311 松本市水沢69-2 Tel. 0263-34-7100  
主催 長野県教育委員会

第1次受付	第1部 移行期間 に向けて	第2部 ポスターセッション	開会行事	第3部 講演会	第4部 パネルディスカッション	閉会行事
10:45 ~ 11:00	11:00 ~ 12:00	12:30 ~ 13:00	13:10 ~ 13:25	13:25 ~ 14:35 (70分)	14:50 ~ 16:00 (70分)	16:00 ~ 16:10
		第2次受付 12:15~13:05				

◆講演  
丸山 将一 氏 (エムケー精工株式会社代表取締役社長)  
『求められる資質・能力』を産業界とともに考える』

◆パネルディスカッション  
『求められる資質・能力』から授業づくりを考える』  
パネリスト 丸山 将一 氏 (エムケー精工株式会社代表取締役社長)  
高柳 俊一 氏 (松本秀峰中等教育学校副校長)  
西 一夫 氏 (信州大学教育学部教授)  
稲垣 希 氏 (大鹿村立大鹿小学校教諭)  
コーディネーター 佐倉 俊 (教学指導課義務教育指導係長)

◆ポスターセッション  
東御市立田中小学校: 「田中小スタンダード」の作成を通じた授業構想の練り合い  
御代田町立御代田北小学校: 外国語活動を窓口にして取り組んだ全教科における振り返りの充実  
中野市立中野小学校: 子どもが学ぶ姿の省察を通して支援の在り方を考える学年研究  
伊那市立緑ヶ丘中学校: 全職員で取り組む「話し合い・対話」を核とした授業づくりと家庭学習  
飯田市立西葉輪中学校: 学び合いを軸とした授業の実践 ~継続した職員研修を通して~  
松川村立松川中学校: 生徒の意識に沿った学習問題やICT活用の在り方  
須賀市立広陵中学校: 学校組織として取り組む理解を深める授業の在り方  
須賀市立東中中学校: 21世紀型能力の育成に向けた授業改善 ~ICTの活用を通して~

参加のお申し込みは、別紙様式にて、FAXまたはメールで所管の教育事務所へ 締切 12月15日(金)  
教学指導課義務教育指導係 北澤嘉孝(課長) 宮島卓朗(担当)  
電話 026-235-7434 (直通) FAX 026-235-7495  
E-mail kyogaku@pref.nagano.lg.jp

「求められる資質・能力」について考えを深めるチャンス!  
これからの予測困難な時代に向けて  
子どもに求められる資質・能力とは?

申込用の「別紙様式」は11月21日付でメール配信してありますので、そちらをお使いください。  
締切は12月15日(金)でしたが  
今からでもお申し込みいただけます!  
お問い合わせは  
北信教育事務所学校教育課  
担当 富山 TEL 026-234-9551  
FAX 026-234-9557

講演会では、求められる資質・能力について考えよう!

パネルディスカッションでは、授業づくりの側面から資質・能力について考えよう!

ポスターセッションでは、中野市立中野小と須賀市立東中の実践発表が聞ける!

## キラッ☆と輝く 子どもの先生の笑顔 vol.5

学校訪問で出会った「笑顔」をコラム風に紹介します。

K小学校 知的障害学級  
生活単元学習  
「牛乳パックで、はがきやしおりを作った販売しよう」  
毎年、はがきを作って、身近な人たちに喜んでもらっているM学級の子どもたち。今年も販売会に向けて、思いを込めた手作りはがきの製作が始まった。

「アイロン!」とはっきり伝えるAさん。M先生に、「今日、がんばりたいことは何ですか」と尋ねられ、友達の手伝いはがきを平たく伸ばしたり乾かしたりしたい気持ち、意欲満々に伝えた。Aさんにとってアイロンをかける活動は、もっとも自信のある活動なのだろう。販売会に向けて、Aさんのやる気がどんどんあふれてきた。活動が始まるとAさんはいすを持って活動の場へ向かった。そこにはアイロンやマット、軍手、手順表などが用意されていた。まるでAさんの仕事場のようだった。◆Aさんの目の前に紙すき係のYさんからすいたばかりの湿ったはがきが届けられた。Aさんは、マットの上にはがきを載せ、布をかぶせてアイロンをかけた。最初は、「一、二、三...三十」と数えながら、アイロンを動かしていき、次にはがきを布ごとひっくり返した。そして、同じようにアイロンをかけるM先生を呼んだ。

M先生は、はがきの厚さや乾き具合を指で確かめ、「もう少しだね」とAさんと共にその出来栄を味わった。◆続けて二枚

目の湿ったはがきが届けられると、すぐにアイロンをかけた。同じ要領で両面をかけた。Aさんは、Yさんがまだ次の紙をすいている姿を確認した。すると、M先生に声をかけずにはがきを再びひっくり返し、アイロンをかけた。Aさんは、三枚目のはがきをすき終えていないYさんを見て、アイロンがけをやめて次のはがきが届くのまで待っている様子も、続けた方がよいと状況を判断しているようだった。そこには「M先生に頼らなくても自分で決められるよ」という意思表示もあつたのだった。◆Yさんから三枚目の湿ったはがきが届いた。Aさんは、時間をかけて伸ばしたはがきにそっと指をふれ、「あつたかくなってる」と満足したようにつぶやいてアイロンを置いた。◆M先生のように指でさわってみたら温かくできていた」と、M先生のしたこと

を思い出しながら、その過程をなぞることで出来栄を自分で確認しているようだった。◆M先生は、子どもたちが自分から、めいっばい活動できるように、繰り返しはがきを作る授業を構想し、一人ひとりに合わせて学習環境を整えた。そして、子どもたちに寄り添って言葉をかけたり、やり方のモデルを示したりした。子どもたちは夢中になつて、繰り返し活動に取り組む中で、教師や友だちの姿を手がかりに、自分で考えて、試し続けていたのだ。◆

【このエピソードから何を感じましたか?】

【このエピソードから大事に考えたいこと】  
○教師自らが言葉をかけたり、やり方のモデルを示したりして、共に感じ、味わいながら活動を見守ったこと。  
○自ら活動を繰り返すからこそ、子どもたちは日々、気づき、考え、試していること。



# 言葉の学習を通して心に寄り添う

## 第2回外国籍等児童生徒指導研修会兼第3回長野市日本語指導連絡協議会



11月16日に、篠ノ井西中学校日本語教室で授業を公開していただき、研修会を行いました。

授業は、3年生の生徒たちが敬語の学習をしながら、志願理由書や面接での言葉の使い方を実践していく内容でした。尊敬語、謙譲語、丁寧語といった、敬語の微妙な違いについて、授業者の田村美奈先生や山岸炎先生が動作を取り入れて表現したことで、生徒たちが敬語のイメージを獲得していく姿が印象的でした。言葉だけでは伝わりにくいことを生徒が把握できるようにするための手立て一つをとっても、生徒の心に寄り添う先生方の姿勢が伝わってきました。その後、参会された先生方の情報交換会を行いました。

### 【情報交換会の感想より】

その子の家庭の状況などをしっかり把握し、進学・就職を含む長いスパンで話す機会をもちながら連携していくことの大切さをあらためて感じました。



## 仲間と語らい、授業改善の今後の展望をもつ

### 北信教育事務所の日々の授業改善研修会

初任3年目まで・臨時的任用の先生方が対象です

第1回（5月）授業を構想する

第2回（7月）指導案を作る

第3回（11月）1年間の実践の振り返り

悩んでいた先生が



教師側のねらいと子どもの意識がずれていった気がして…

でも、この手立てはとてもいいと思ったよ。どうして思いついたの？



仲間とのやりとりで



書くことが苦手な子への配慮で、印をつけるようにすればよいと思ったんです。

印をつける項目の内容を、ねらいとリンクさせるともっといいかも…



笑顔になっていく



反省ばかりでしたが、いい点も言ってもらって、少し自信が付き、工夫の方向も見えました。これまで自分の実践内容を語り合う機会がなかったので、貴重な体験になりました。

来年度も開催予定です。仲間と語り合い、自分の実践を見つめ直しながら、授業改善の今後の展望をもつ機会になると思います。もちろん、1回のみ参加も大歓迎です。

# 地域ぐるみの共育フォーラム実施報告

地域で豊かにたくましく生きる子どもを育てるために、学校教育関係者・社会教育関係者・福祉関係者・保護者・地域の人々が集い、学校と地域のよりよい連携・協働のあり方について学び、意見交換をするための上記フォーラムを、10月14日(土)に飯山市公民館で行いました。



## 講演会 演題「これからの学校と地域の連携・協働のあり方

### ～信州型コミュニティスクールの実践を通して～」

講師 上田市教育委員会生涯学習・文化財課 伴 美佐子 さん

#### 《参加者の声》

- ・コミュニティスクールをスタートさせて4年になりますが、改めてとても大切なことであると実感し、勇気が湧いてきました。
- ・とてもわかりやすく、コミュニティスクールの必要性が心に残りました。三間の喪失のことを実感しています。子どもを真ん中に据えて取り組んでいきたいと思えます。
- ・根幹の部分である「どんな子どもを育てたいか」を共に考え合いながら進めていくことの大切さを強く感じました。
- ・地域や子どもたちのために、地域みんなで大人の姿を子どもたちに見せていく大切さを感じました。
- ・地域も学校もどれだけ心を開いて本音で子どもの今と未来を語れるか、改めて考える良い機会となりました。



## 分科会

### 【第1分科会】「地域と学校がともにつくる更級縄文まつり」 発表 更級小学校 飯島 稔 さん

- ・《参加者の声》地域の方と共に創る縄文祭りには、子どもを真ん中にした多様な他者との協働があると感じました。祭りにかかわることで、地域を愛しふるさとに誇りをもつ子どもたちが育っていくと思いました。



### 【第2分科会】「社会福祉協議会と連携した学校支援」

発表 社会福祉法人長野県社会福祉協議会 齊藤 舞 さん

社会福祉法人筑北村社会福祉協議会 鈴木 尚史 さん

- ・《参加者の声》社協と学校の連携の必要性を認識させられました。今後の学校でのCSのあり方を大いに考えさせられ、社協や社会教育委員等との横のつながりのある組織にしていくことが大切だと思いました。

### 【第3分科会】「学校と公民館が連携した地域学習」

発表 須坂小学校 金井 直樹 さん 須坂市中央公民館 上原 夏希 さん

- ・《参加者の声》くぬぎの時間(総合的な学習)というひとつの企画に対し、いろいろな団体の方がかわり、成功していることが伝わってきました。子どもたちは地域の方々と接することで様々な体験ができ、よいことだと思いました。

### 【第4分科会】「りんごっこ支援の会による学校支援」

発表 長沼小学校りんごっこ支援の会 西澤 和雄 さん

- ・《参加者の声》長沼の子どもたちのために地域と学校がよい連携をとっていること、取組を地域一帯が共有できていることがすばらしいと感じました。今回の話を持ち帰り学校や地域の方々と共有し、共通の意識で活動していきたいです。